

平成29年度 美術 I

教科(科目)	美術 I (芸術)	学科(コース)・学年	1 学年
使用教科書	日本文教出版「高校生の美術 1」		
副教材等	なし		
履修単位 (時間)	2 単位 (70 時間)	履修条件	芸術選択必修

1. 学習目標

美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

2. 指導の重点

- ① 絵画、彫刻、デザイン等の制作を通し、さまざまな表現方法、表現技能を学習させるとともに、作品完成時の成就感を味わわせる。(表現する力)
- ② さまざまな作品を鑑賞し、美術作品のよさや美しさ、作品の意図、表現の工夫、文化、生活や自然との関わりなどを理解させる。(鑑賞する力)
- ③ ①、②について自分の作品及び鑑賞レポートについて第三者に伝える力を養う。(言語能力としての「伝える力」)

3. 学習の計画

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動(評価方法)
1	○オリエンテーション	・美術 I の学習内容についての導入	課題/取組む姿勢
	○色について	・色の三要素、色の調和、混色について学ばせる	
	○色面構成(デザイン)	・発想力、構成力、色彩感覚を養わせる。	
2	○作品から物語をつくる ～洋画編～ (鑑賞)	・作品を鑑賞し、思考力、創造力を養わせるとともに、作品について調べさせ、理解させる。 ・感じたこと、調べたことを第三者に伝える力を養わせる。	レポート/発表/取組む姿勢
	○北斗祭インスタレーション (立体デザイン)	・紙のさまざまな加工(曲げ、折り等)について学ばせる ・紙の加工のための技術を学ばせる。 ・展示空間から空間構成を学ばせる。	作品
	○ドライポイント石膏刷り (版画)	・石膏版画の表現技法及び画面構成力、描写力を養わせる。 ・ドライポイント(及びエッチング)の歴史、作品について学ばせる。	アイデアスケッチ/作品/レポート/取組む姿勢み

3	○バターナイフ（木彫・デザイン）	<ul style="list-style-type: none"> ・機能美（使いやすさ、デザインの美しさ）について学ばせる。 ・木彫の技法を学ばせる。 ・デザインが世の中にはたす役割について理解させる。 	アイデアスケッチ／作品／レポート／取組む姿勢
---	------------------	--	------------------------

4. 評価の観点

美術への 関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身につけ、意図に応じて、表現方法を工夫して表している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
具体的な評価の対象 <ul style="list-style-type: none"> ・ 作品 ・ 練習課題 ・ 制作した作品についてのレポート / 鑑賞レポート ・ 学習に取り組む姿勢 			

5. その他（留意すべき点・担当者からの一言）

授業を通して創造力を養い、美術に親しみ、彩りのある生活へと活かしてほしい。